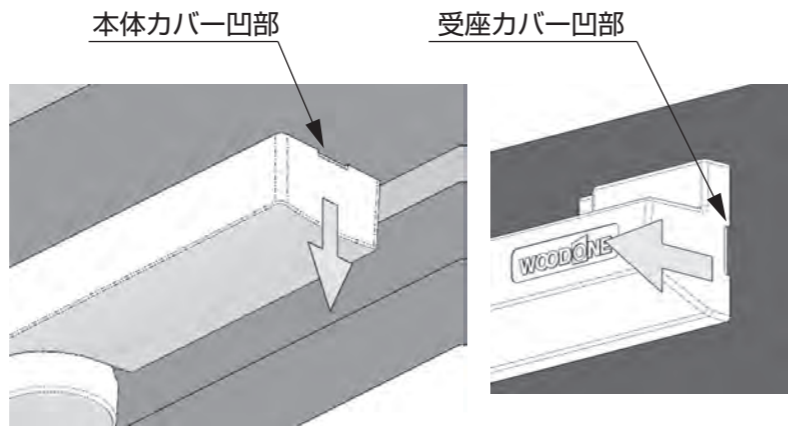


カバーの取り外し方法

- ・ドアを開けた状態で、カバーの凹部にマイナスドライバー等を差し込み、矢印の方向に引き出してください。
- ・反対側をつまんで両側均等に少しずつ取り出してください。
- ※ 枠・ドアにキズをつけないよう慎重に作業を行ってください。

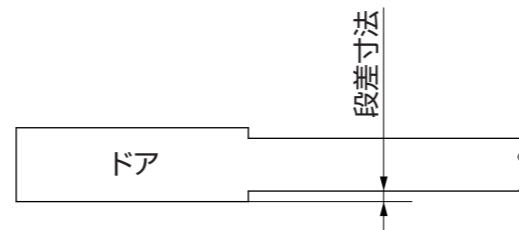


受座スペーサーの使用方法

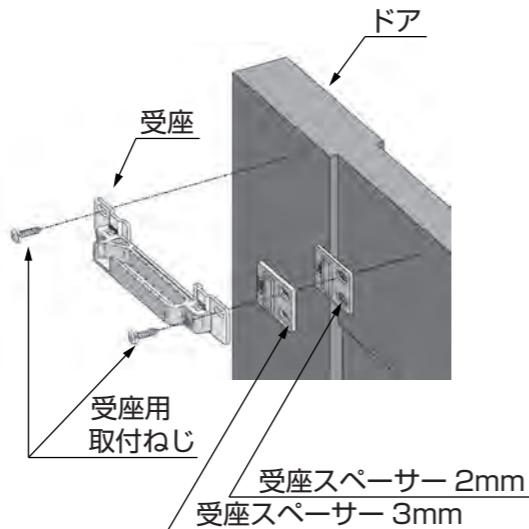
- ・段差のあるドアに本製品を取り付ける場合、付属の受座スペーサーを使用します。
- ・受座スペーサーは、厚さ 2mm、3mm が各 1 枚付属し、ドアの段差 2mm、3mm、5mm に対応しています。（ドアの段差 5mm の場合は、受座スペーサー 2mm と 3mm を重ねて使用します）
- ・受座スペーサーを付けたまま、受座の上下・左右調整を行うことができます。

■ 取り付け前の確認

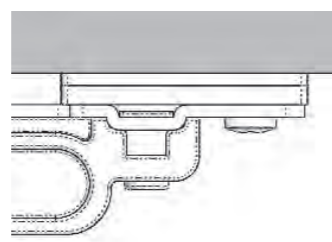
- ・ドアの段差寸法を確認し、受座スペーサーを選定してください。



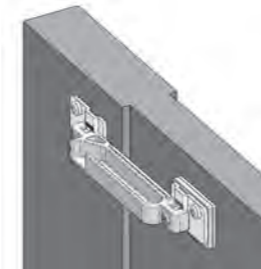
【ドアの段差が5mmの場合】
※図はZH-1201-R（右吊元用）



上面より



受座取付状態



WOOD ONE

〈施工説明書〉

ドア用ソフトクローザー金具

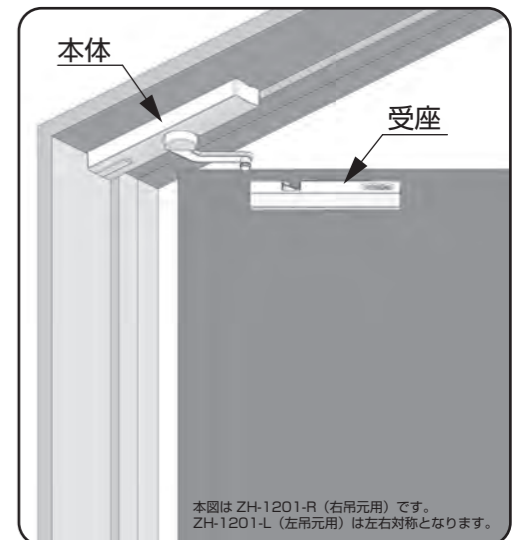
株式会社 **ウッドワン**
—〈商品相談窓口〉—
〒738-0023
広島県廿日市市下平良 1-12-1
ツルギイノベーションビル ☎0120-81-3331

このたびはWOOD ONEの商品をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。
施工前にはこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。
なお、お気付きの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

- ・本説明書の製品内容は、部品としての品質範囲です。本製品を使用した最終製品の機能・性能・安全性を保証するものではありません。
- ・製品については万全を期しておりますが、万一不良品があった場合、ご購入先へお問い合わせください。
- ・製品改良などにより、予告なく寸法、材料などの仕様変更をおこなう場合があります。念のため現品にてご確認ください。

⚠ 注意

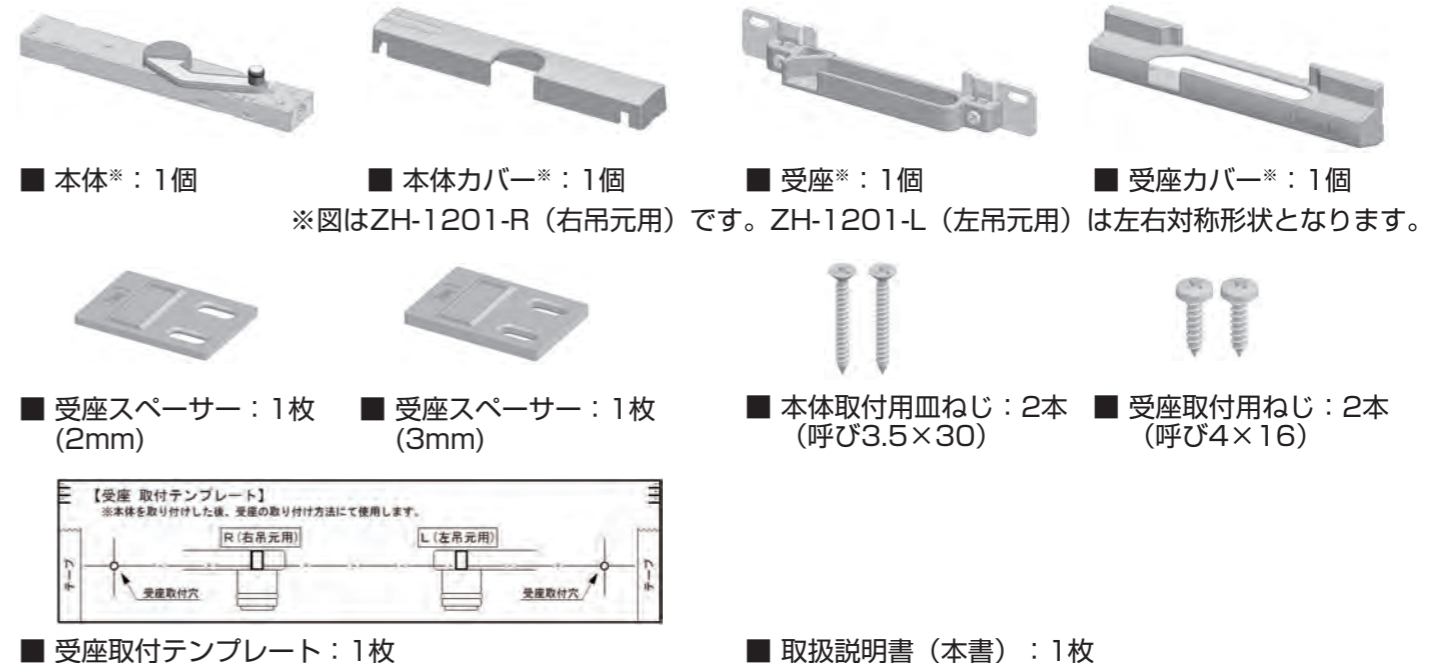
- ・本製品は屋内用です。直接雨や雪がかかる場所での使用はおやめください。
- ・本製品は指挟みを防止する為の製品ではありません。ドアと枠の間に指などを入れますと怪我をしますのでおやめください。
- ・インパクトドライバーは使用しないでください。故障及び破損の原因となります。
- ・強風下ではダンパー効果が低下しますので、強風下での使用はおやめください。
- ・ご使用中にアームに物を掛けたり、ドアダンパーの取り付けや取り外し、調整をする際にアームに無理な負荷を掛けしないでください。アームが破損する原因となります。
- ・ドアを必要以上に強く閉めるなど、無理なドアの開閉はおやめください。故障の原因となります。
- ・ご使用中も定期的に各ねじの緩みや脱落等がないか確認いただき、増し締めをおこなってください。
- ・各カバーの表面が汚れた時は、水をふくませたやわらかい布を固く絞り、汚れを軽く拭き取ってください。薬品等を使用しますと変色したり、割れたりしますのでおやめください。
- ・本製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。温度変化によりドアの閉止速度が変化しますが、故障ではありません。



特長

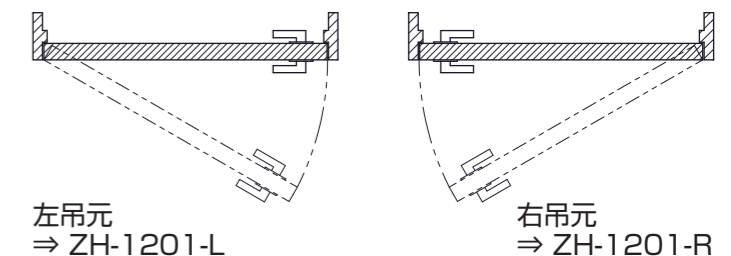
- ・本製品は面付けタイプの開き戸用ドアダンパーです。
- ・ダンパー機能により、ドアの「バタン」という衝撃音をやわらげ、閉じ際からゆっくりと閉まります。
- ・戸当たりとたて枠にピッタリ寄せて取り付けだけの簡単取り付けです。
- ・ドアの閉止力調整機能付きです。
- ・受座は上下、左右位置調整機能付きです。

製品内容



取り付け前の確認

- ドア吊元方向の確認
 - ・ドアを開く側からみて、右側に吊元がある。
⇒ ZH-1201-R（右吊元用）をご使用ください。
 - ・ドアを開く側からみて、左側に吊元がある。
⇒ ZH-1201-L（左吊元用）をご使用ください。



取付手順 ※図は ZH-1201-R (右吊元用) です。ZH-1201-L (左吊元用) は左右対称となります。

※本製品の取り付けは、ドアや枠の建て付け調整後におこなってください。

1. 本体の取り付け

- ① 付属の本体取付用皿ねじ (呼び 3.5×30) 2 本で上枠に取り付けます (図 1-1 参照)。

本体を吊元側のたて枠と戸当りに突き当て、指定の取付穴にて取り付けてください。

注: 集合住宅用開きドア枠 90 幅に取り付けする場合は、取付穴 A を使用せず、取付穴 B と予備穴を使用してねじ取り付けして下さい。尚、クローザー本体が枠から飛び出しますが、機能上問題ありませんので、ご了承ください。

※ 予備穴のねじ取付が施工し難い場合は、たて枠から 0 ~ 20mm の範囲でズラして取り付けして下さい。

- ② アームを矢印の方向に図 2 の位置まで引き出します。この時、アームの上下方向や矢印と反対方向に力を加えないでください。破損の原因となります。

アームが図 1 の状態ではドアダンパーは機能しません。

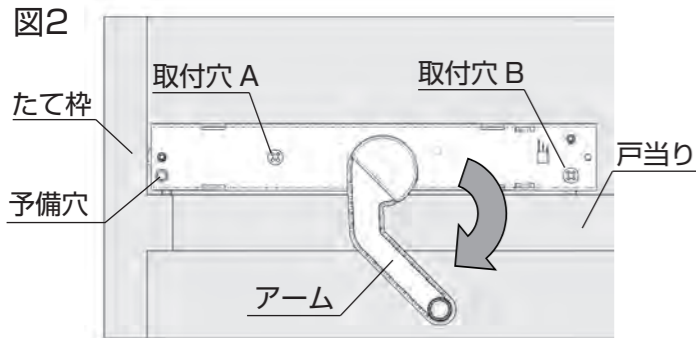


図 1-1

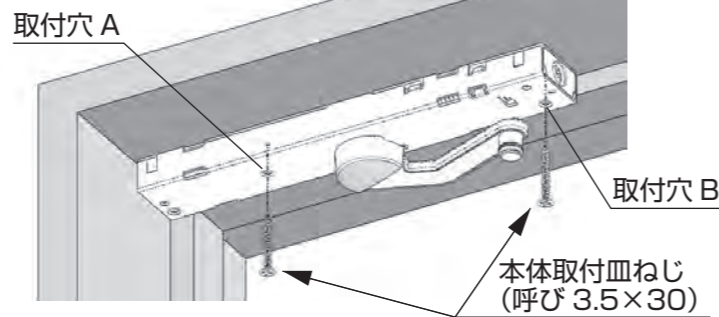


図 1-2 ドア枠 90 幅の場合

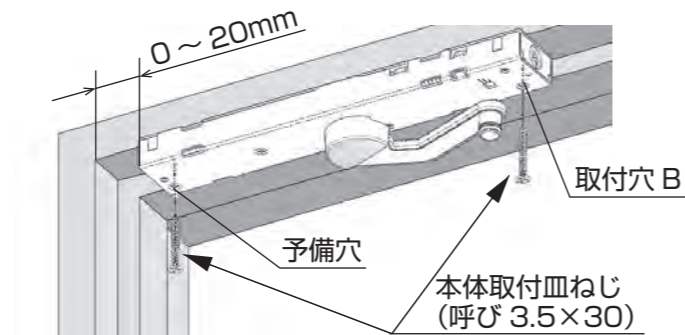
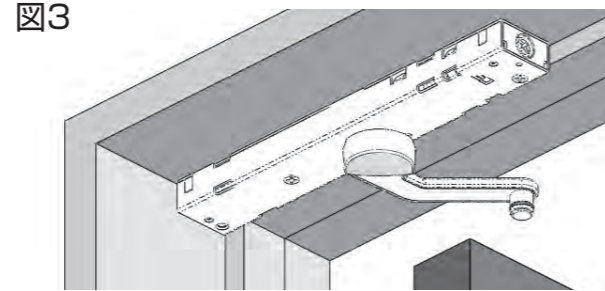


図 3



2. 受座の取り付け

- ① ドアをゆっくり閉めながら、アームの先端と付属の受座取付テンプレートの四角穴をあわせてください。

② ドアの上端面と受座取付テンプレートが平行になるよう調整し、受座取付テンプレートの 2 箇所取付穴に印を付けてから下穴をあけてください。その際、受座取付テンプレートをマスキングテープ等で仮固定すると作業が容易に行えます。

- ③ 受座を付属の受座取付用ねじ (呼び 4×16) 2 本でドアに取り付けます。

図 4

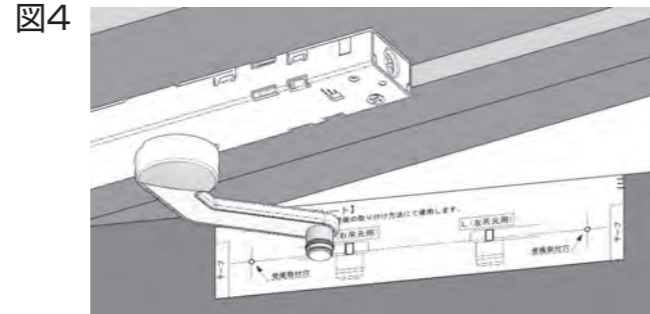
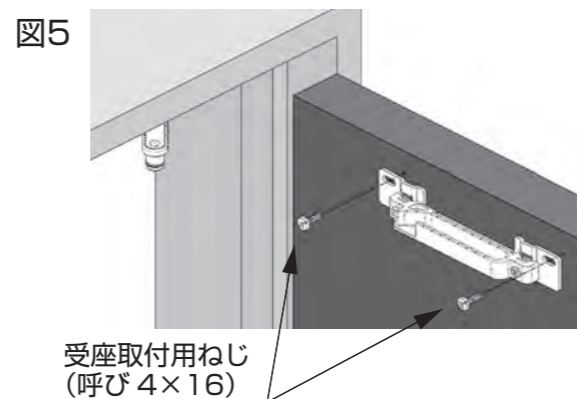


図 5



- ④ ドアをゆっくりと閉め、アームのローラーが受座のガイド溝に入ることをご確認ください。

重要

- ⑤ ローラーとガイド溝とのすき間が図 7 の範囲に入っていない場合は、受座の上下・左右位置の調整を行ってください。(詳細は「3. 受座の調整」をご参照ください。)

- ⑥ ドアをゆっくりと開閉し、正常に作動することをご確認ください。正常に作動しない場合は再度、受座の位置調整を行ってください。

図 6

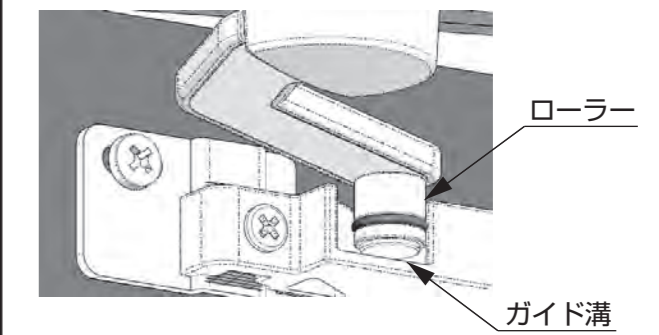
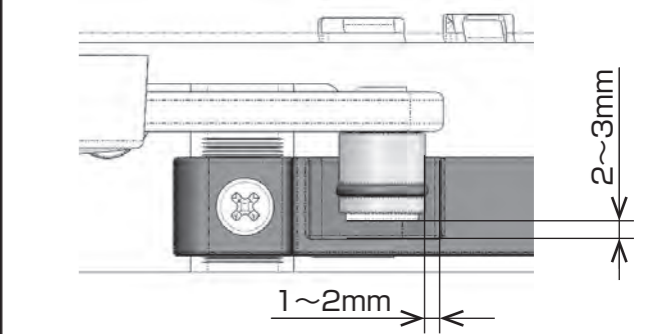


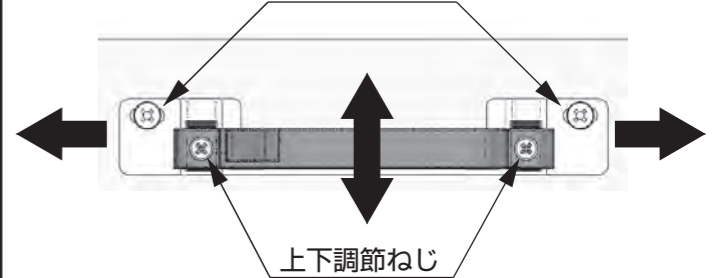
図 7



3. 受座の調整 (正常に作動しない場合)

- ① ローラーが受座のガイド溝に入らない場合
⇒ 受座の上下・左右調整を行ってください。
- ② ドアを開いたときにアームが戻ってしまう場合
⇒ 受座の左右調整で吊元方向に移動させてください。

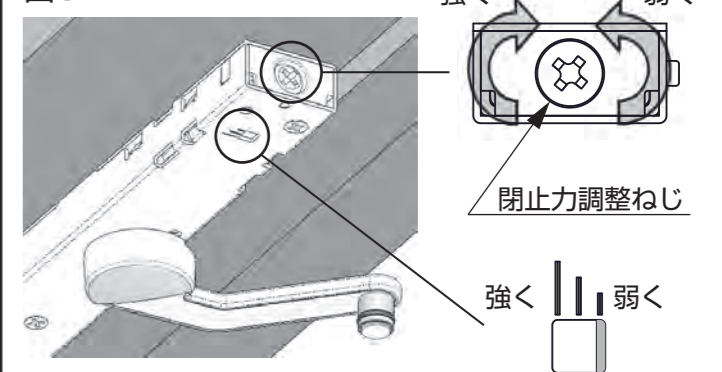
図 8



4. 閉止力の調整

- ① 閉止力が弱い場合 (ドアが閉まりきらない場合など)
⇒ 本体の閉止力調整ねじで閉止力を調整してください。

図 9



5. カバーの取り付け

- ① ドアを開いた状態で、本体カバー・受座カバーを取り付けます。

図 10

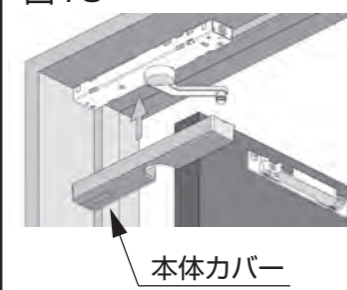


図 11

